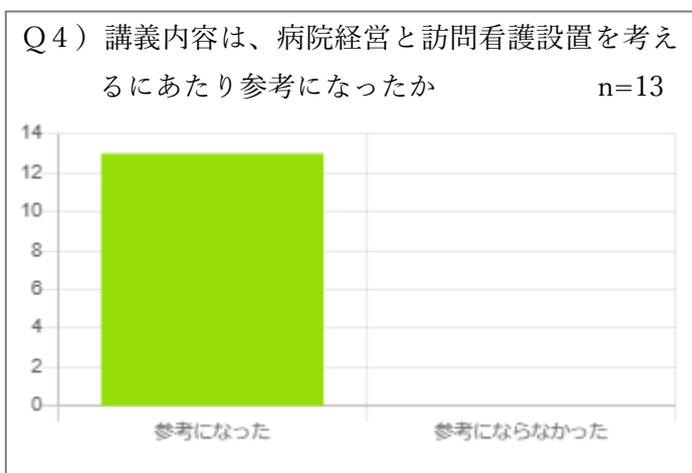
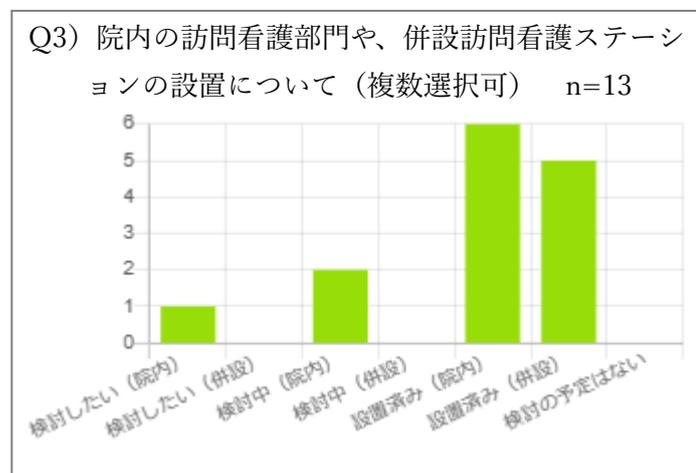
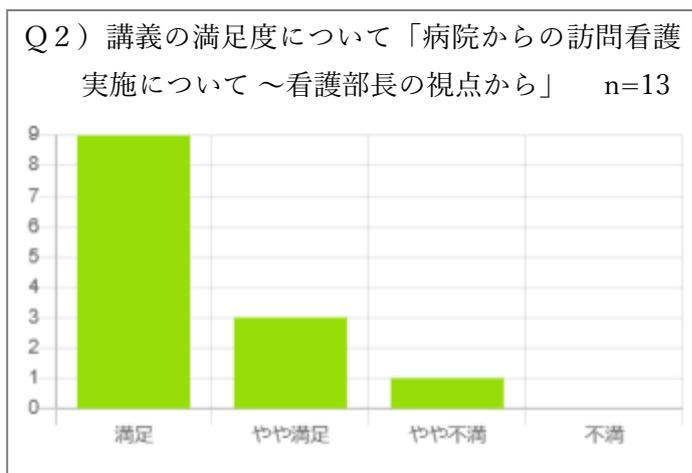
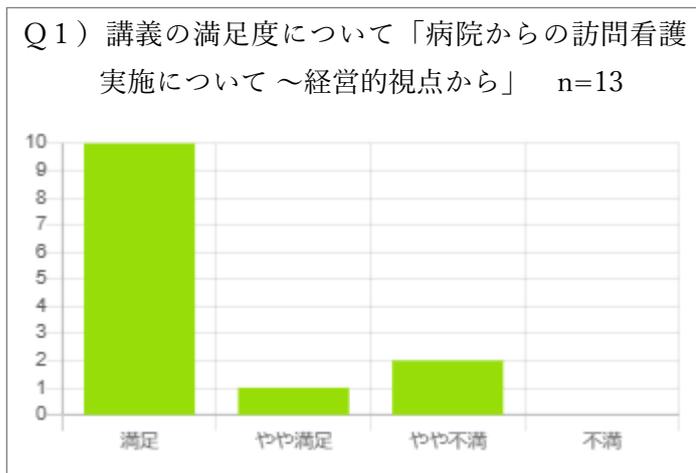


## 令和5年度訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会 アンケート結果

- 参加者 17 名（看護部長等 7 名、副部長 1 名、看護師長 6 名、ST 管理者 2 名、なし 1 名）
- 回答者 13 名（回収率 76.5%）



### Q5) (Q4で「参考になった方」と回答した方へ) 具体的に参考になった内容を記載

- 利益率や、スタッフの配置人数、維持していくためのポイント、経営の視点、間接業務の短縮
- 事前準備に配慮した体制を検討する上で、人員配置は 5~6 人体制の方が経営的には効率、効果的であるという事等が参考になった。
- 訪問件数を増やすための課題が明確になった。
- 現在の流れや問題点がわかった。
- 標準的な訪問回数、時間数、訪問の方法等。看護部長としての業務も参考となるものがあった。
- ターミナルをはじめ重症化・亜急性期の利用者様が増加し、「いかに業務効率化を図り依頼を断らないことが大切か」を日ごろから身に染みて感じている。スタッフ自身もそのような視点で業務に携わってもらうことが肝要と感じた。
- 訪問件数の目安(特に経営の視点から)が具体的にわかった
- 利用者を増やすため営業をする必要性

### Q6) 今後本講習会で取り入れてほしい内容について具体的に記載

- どのくらいの訪問件数と訪問看護師数で黒字経営を望めるのか等、もう少し時間を取って聞きたい (2)
- 病院経営に関する知識、情報を学べる内容。具体的な経営成功事例等
- 診療報酬改定と看護管理者が取り組むべき内容等
- 訪問診療と訪問看護の併設について
- 訪問看護ステーション管理者向けの、経営に関する具体的なノウハウに関するコンサルタント
- 訪問看護の独自性、売りをどのように創り出すか
- 訪問看護師をどのように育成したらよいか
- 他の経営者、管理者との交流時間があると良い
- 包括ケア病棟について、退院支援について